

I 調査の概要

1 調査目的

「ひきこもり」に該当する子ども・若者がどの程度存在し、どのような支援を必要としているのかを把握することで、地域支援ネットワークの形成を促進するための基礎資料とする。

2 調査項目

- (1) 基本的属性について (Q 1～Q 8)
- (2) 学校に関すること (Q 9～Q 1 2)
- (3) 就労に関すること (Q 1 3～Q 1 7)
- (4) 普段の活動に関すること (Q 1 8～Q 1 9)
- (5) ひきこもりの状態に関すること (Q 2 0～Q 2 3)
- (6) 相談機関に関すること (Q 2 4～Q 2 6)
- (7) 自分についてあてはまること (Q 2 7～Q 2 9)
- (8) 家庭の状況について (Q 3 0)
- (9) 悩み事の相談に関すること (Q 3 1～3 2)

3 調査対象

- (1) 母 集 団 全国 15 歳以上 39 歳以下の者
- (2) 標 本 数 5,000 人
- (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

4 調査時期

平成 22 年 2 月 18 日～ 2 月 28 日

5 調査方法

調査員による訪問留置・訪問回収

6 有効回収率

- (1) 有効回収数(率) 3,287 人 (65.7%)
- (2) 調査不能数(率) 1,713 人 (34.3%)

— 不能内訳 —

転 居	346	長期不在	76	一時不在	623
住所不明	83	拒 否	515	そ の 他	70 (病気など)